

魚津市定例記者会見 8月

日時：平成28年8月1日（月） 午後1時30分～

場所：市役所第一会議室

報道出席者：北日本新聞社、富山新聞社、北陸中日新聞社、読売新聞社、北日本放送、
富山テレビ放送、チューリップテレビ、ラジオミュー

市当局出席者：市長、副市長、教育長、企画総務部長、民生部長、産業建設部長、
企画政策課長

1. 市長からの説明事項

(1) 7月を振り返って

①大町・村木・上野方・本江統合小学校校舎新築事業安全祈願祭（7月9日）

いよいよ統合校の学校整備が始まった。工事は現在の校舎を利用しながらになるため、周囲の環境に配慮しながら子ども達の授業等にも支障のないようにしっかりと進めなければならない。工事の安全祈願祭では、安全に注意をはらい予定どおりスムーズに整備を進めてまいりたいと話をした。これから子ども達の教育環境整備をしっかりと進めていくことが必要になるので、今後いろいろな課題が出てくるかとは思いますが着実に整備を進めていきたい。

②北陸職業能力開発大学校との第1回連携推進会議（7月21日）

昨年度からこのような会議を持ちたいと話をしており、先月、開催の運びとなった。会議では、ものづくりの伝統がある魚津で、大学と市が連携して取り組みを進めたいという話になった。具体的には共同研究や魚津・滑川の小学校での出前授業の充実、あるいは産業フェアの連携といったことが挙げられた。現在、バスロケーションシステムを能開大さんのご協力で運営しているが、これをさらに利用しやすい便利なものにならないかといった視点で意見交換し、大学でも取り組みたいというお話であった。基本的には年1～2回こういった場を設けながら能開大さんとの連携を深めていくスタンスで臨みたい。大学の方からもぜひそうしたいと、非常に前向きのお話をいただいた。

③友好親善都市の岡山県井原市を表敬訪問（7月28～29日）

井原市と魚津市は昭和57年に友好親善都市盟約を調印している。その交流の歴史は長く、さらに子ども達のスポーツ交流などを通じていっそう両市の交流を深めるということを再確認させていただいた。

(2) 8月のイベント概要

①第47回じゃんとこい魚津まつり

魚津の夏を彩るじゃんとこい魚津まつりがこの週末から始まる。市内外からたくさんの方においでいただきたい。市も関係団体としっかり連携し準備を進めたい。

8月5日（金）は開会式とたてもん祭り、6日（土）は海上花火大会とたてもん祭り、7日（日）はせり込み蝶六踊り街流し（41 チーム約 3,000 人）が行われる。

② 第30回全日本大学女子野球選手権大会

出場は23チーム（24大学）で昨年より1チーム増えた。初出場が久々に2チームあり、楽しみにしている。全国的にも特色のある女子野球大会を通じて魚津のスポーツシーンをPRできればと思っている。

30回目の記念大会ということで、30周年記念誌の発行や30年のあゆみ写真展といった記念事業も予定されている。

日程は、8月26日（金）が記念レセプション、27日（土）に桃山球場で開会式、27～28日は桃山・天神山の両球場で、29～30日は桃山球場で試合があり、31日が決勝戦の予定。

③ トランスジャパンアルプスレース

2年に1度開催されており、今回で8回目。8月6日（土）午後9時からミラージュランドで開会式を行い、深夜0時にスタート。29名が出場する。世界的に見ても相当レベルの高い過酷なレース。出場者の皆さんには完走目指して頑張っていたきたい。私共もできるサポートをしっかりと行いたい。

④ 市施設等の延長時間営業など

子どもさんはじめ幅広い年代の方に魚津市の施設をぜひご利用いただきたく、例年通り夏休み期間中に営業時間を延長している。

ミラージュランド「サマーナイトフェスタ in ミラージュ」、ミラージュプール「お客様感謝デー」、埋没林博物館「漁火まつり連携企画 埋没林ナイトミュージアム」をぜひご利用いただきたい。

(3) 魚津市合同イクボス宣言式、記念講演

イクボスとは、ご存知のとおり仕事と育児を両立しやすい環境の整備にしっかり取り組むリーダーのこと。魚津市の民間事業所の皆さんと一緒にイクボスの宣言を行う。ぜひ多くの市民の皆さんに会場へ足をお運びいただければと思う。

日程は8月17日（水）、午後6時から6時30分まで宣言式、引き続き記念講演を行う。宣言者は市長、商工会議所会頭さん、市内事業所の代表者も参加される。記念講演の講師はNPO法人ファザーリングジャパン代表理事の安藤哲也さん。

2. 質疑応答での市からの説明内容

「ユネスコ無形文化遺産登録が見込まれるたてもんまつり」

《記者からの質問》

今週末のたてもんまつりの時、あるいは今秋の（ユネスコ無形文化遺産）決定時に市で記念行事を予定しているか。

《回答》

今回のまつり（に合わせて）は特に考えていないが、11月中下旬にエチオピアで（開催される無形文化遺産委員会において）決定となればその時間にくす玉割りあるいは鏡開き等で祝いたい。基本的には市が主催し、たてもん保存会が共催の形になろうかと思う。詳細は今後決める。決定の時間帯が昼夜どちらでもいいように、祝賀会場はありそドームを予定している。ありそドームには小さめのたてもんも展示してあるので。

県内からはたてもんのほか、高岡の御車山、城端の曳山が（登録）対象になっているので、高岡で3者合同の祝賀会が予定されている。来年2月には魚津市内でたてもんの講演会あるいはパネルディスカッションができないかなと思っている。

「魚津まつりでの台湾インバウンド」

《記者からの質問》

今年のたてもんまつりに、台湾からのインバウンドはあるのか。

《回答》

8月4～8日の日程で、台湾メディアとブロガーで4名、ツアーで10名が魚津まつりに来ると聞いている。それと未確認情報ではあるが、名古屋から日本入りし魚津まつりに合わせて来訪する台湾のお客さんが11名程度おられるようだ。たてもんを曳く希望もあるやに聞いている。

「イクボス宣言」

《記者からの質問》

市の宣言者は全部で何人か。育児しやすい環境をどう整えるのか。数値目標などはあるのか。

《回答》

市長含め33名が連名で宣言する。環境整備に関しては、行動計画も定めているが、職員の（育児参加の）申し出があれば気持ちよく認めようという対応になる。

宣言に合わせて制度を整えるまでには至っていない。まずは意識改革から。今後は行動計画のフォローが重要になる。

《記者からの質問》

企業は何社宣言するのか。

《回答》

4社。内訳はくるみ認定の3社と県の元気とやま！子育て応援企業の1社。商工会議所会頭も宣言に参加する。

「天皇陛下の譲位のご意向に関して」

《記者からの質問》

来年の全国植樹祭は現陛下がお出ましになられる貴重な機会になることが想定される部分がある。陛下をお迎えする立場として、このたび報道されている陛下の

ご意向に関し市長の考えをお聞かせ願いたい。

《回答》

私も含め市民の多くの方が、来年、両陛下がお健やかに魚津にお見えになることを願っていると思う。ただ、報道であるように陛下ご自身のお気持ちもあると思うのでそういったお気持ちを大切にいただき、我々としてはそれを忖度するのみである。式典開催市として精一杯お迎えの準備をしていくことに尽きると思っている。